

経営理念、パーパス(存在意義)

経営理念

革新的価値の創造

王子グループが今後大きく飛躍していくためには、イノベーションが不可欠です。画期的な新製品の開発と、それを導く研究・技術開発。また、組織の仕組みや、従業員一人ひとりの行動に変革が求められています。斬新な発想で「チャレンジングなモノづくり」を行い、社会の潜在ニーズを充足していきます。

未来と世界への貢献

王子グループは多種多様な事業を抱え、グローバル企業へと成長しました。今後もアジア諸国をはじめとする積極的なグローバル展開を通じ、あらゆる国・地域・社会に「革新的価値」を提供し、新しい未来を創造する企業であり続けます。

環境・社会との共生

森林資源を核とする資源循環は、王子グループの基盤です。国内外に保有する広大な社有林の多方面での活用、各製造現場における環境負荷低減策の追求などを通じ、私たちの事業そのものが持続可能な社会に貢献できるよう、取り組みを発展させていきます。

パーパス(存在意義)

森林を健全に育て、
その森林資源を活かした製品を創造し、
社会に届けることで、
希望あふれる地球の未来の実現に向け、
時代を動かしていく

健全に育て管理された森林は、二酸化炭素を吸収、固定するだけでなく、洪水緩和、水質浄化等の水源涵養、防災という機能の他に、生物多様性や人間の癒し、健康増進等にも貢献する効果があります。

そして、森林資源を活かした木質由来の製品は、その原料が再生可能であり、化石資源由来のプラスチック、フィルムや燃料等を置き換えていくことができます。

王子グループは、森林を健全に育て管理し、その森林資源を活かした製品を創造し、社会に届けることで、地球の温暖化や環境問題に取り組み、希望あふれる地球の未来の実現に向け、時代を動かしていきます。

新マーク、タグライン制定

長期ビジョンに示される「変革への決意を発信」し、グループ全体の一体感を醸成、「変革を遂行」するため、当社のマーク・タグラインを一新しました。マークのOJIの文字の奥には、広大な森林や豊かな自然の風景が広がっており、森を育て、森を活かし、人々の豊かな生活に貢献する王子グループの企業像を象徴しています。また、3つのカラーは、多様な個性が輝く柔軟性と親しみやすさを表現しています。

タグライン「Dedicated to Sustainability」は、王子グループのこれからの方向性である「サステナビリティへの貢献」(長期ビジョン 2035)を端的に表しています。



Dedicated to
Sustainability

Contents

03 CEOメッセージ					
08 王子グループの価値創造					
価値創造のあゆみ	09	ポートフォリオ新領域	28	50 サステナビリティ	
At a glance	11	サステナブルパッケージ	29	サステナビリティ・ガバナンス	51
グローバル展開	12	木質バイオマスビジネス	31	サステナビリティ重要課題	52
13 中長期成長戦略		事業概要 - 事業の全体像 -	33	環境行動目標2040	55
経営計画の変遷	14	産業資材事業	34	生物多様性コミットメント／	56
長期ビジョン	17	生活消費財事業	36	森林破壊・転換ゼロコミットメント	
中期経営計画2027	19	機能材事業	38	持続可能な森林経営	57
CFOメッセージ	23	資源環境ビジネス	40	ネイチャーポジティブ	60
経営資源の活用	26	印刷情報メディア事業	42	カーボンニュートラル	62
ロジックツリー	27	イノベーション	44	サーキュラーエコノミー	64
		CIOメッセージ	44	責任ある原材料調達	66
		イノベーション戦略	45	人権の尊重	67
		知的財産戦略	49	職場の安全衛生の確保	68
				69 経営基盤の強化	
				人事本部長メッセージ	70
				人財戦略	71
				DX戦略	75
				指名・報酬委員会委員長メッセージ	76
				社外監査役メッセージ	78
				役員一覧	79
				コーポレートガバナンス	81
				資本市場との対話	89
				リスクマネジメント	90
				コンプライアンス	91
				92 データセクション	
				財務ハイライト	92
				財務データ	93
				非財務データ	94
				編集方針	95
				会社概要／株式情報／外部評価	96

ナビゲーションバー操作ガイド

本レポートでは閲覧性向上のため、さまざまなナビゲーションバーを設けています。ぜひご活用ください。



表紙

右下に配置される円弧は、新マークのサポートグラフィック「GLOBAL ARC」です。

円弧を描く色面は、大きな円の一部を構成しており、私たちは地球に生きる一員であること、そして王子グループの一員として一丸となり、企業活動に取り組む姿勢を表現しています。

